

【健康経営の実施により期待する効果】

体調不良による休業（疾病休業日数率）低減 ⇒ 組織活性化 ⇒ 事業継続安定

〈背景と課題〉

工場操業から30年以上経過し、従業員の高齢化に伴う疾病リスクの上昇が課題です。元気に働き続けて欲しい信念のもと、健康経営に力を入れ、疾病休業率低減を目標に様々な施策を企画、運営、実行していきます。

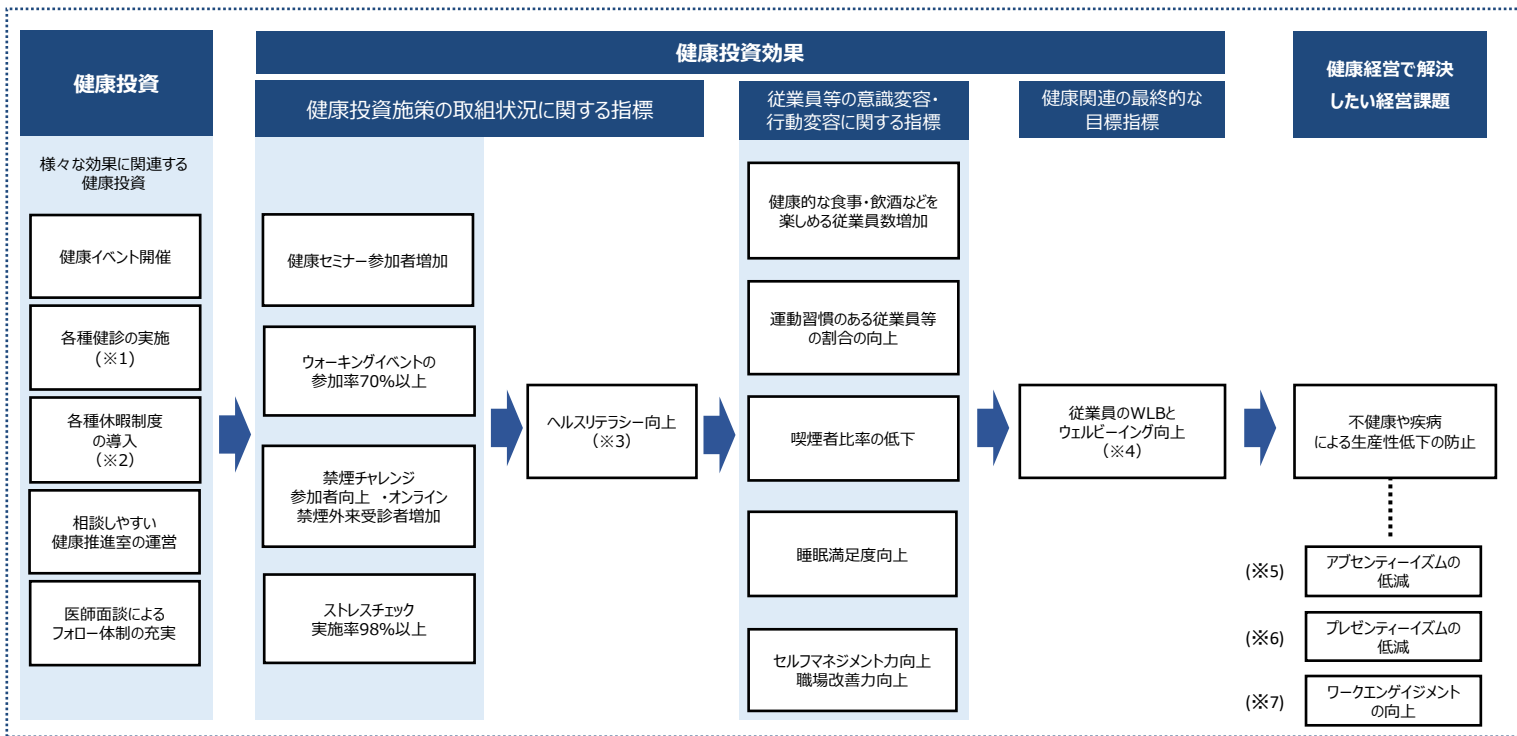
〈具体的な数値目標〉

疾病休業日数率（有給休暇含）2024年度末0.5

〔従業員が体調不良で休む日数を1ヶ月に1日として換算（1日で回復することを目標）〕

〔5年間の推移〕 2019（1.05）2020（0.78）2021（1.48）2022（1.31）2023（2.08）

〔健康経営戦略マップ〕



社会的価値

在席する従業員だけでなく退職した従業員および家族が高いQOLを維持すること

企業価値

生産性向上により従業員等1人当たり営業利益の増加

- ※1 各種オプション健診（社外実施含む）：婦人科（子宮頸がん・乳がん）、脳ドック（MRA/MRI）、肺ドック（肺CT）、配偶者健診など
- ※2 各種休暇制度：年次休暇、結婚休暇、忌引休暇、女性従業員の産前産後休暇、出産育児サポート休暇、赴任休暇、通院休暇（妊産婦）積立休暇（子の看護、親の介護、私傷病、ボランティアなど、項目により時間単位の取得可能）、生理休暇など
- ※3 ヘルスリテラシー：健康や医療に関する正しい情報を探したり、活用したりする能力
- ※4 WLB：ワークライフバランス
- ※5 アブゼンティーズム：傷病による欠勤
- ※6 プレゼンティーズム：出勤はしているものの、健康上の問題によって完全な業務パフォーマンスが出せない状況
- ※7 ワークエンゲイジメント：仕事に対してポジティブで充実している心理状態。活力・熱意・没頭の3つの要素が兼ね備えられた状態

【健康課題と目標】

- ・**血圧リスク者率**（収縮期血圧 180 mmHg以上または 拡張期血圧 110 mmHg以上の人の割合）
2021年 0.2% 2022年 0.3% 2023年 0.49% <目標値> 0%
- ・**血糖リスク者割合**（空腹時血糖が200mg/dl以上の人の割合）
2021年 0.3% 2022年 0.0% 2023年 0.49% <目標値> 0%
- ・**適正体重維持者率**（BMI 18.5~24.9）
2021年 68.8% 2022年 69.5% 2023年 64.6% <目標値> 75%
- ・**精密検査受診率**
2021年 87.2% 2022年 86.0% 2023年 97.2% <目標値> 100%
- ・**疾病休業日数率** = 休業日数合計値 / 同月度所定内就業日数（1日単位の体調不良による休暇含む）
2019年 1.05 2020年 0.78 2021年 1.48 2022年 1.31 2023年 2.08 <目標値> 0.5以下
- ・**メンタルヘルス長欠休職率**
2021年 11/615人=1.78% 2022年 7/619人=1.13% 2023年 8/612人=1.3% <目標値> 0%
- ・**疾病（傷病）による休職状況**
2021年 2/615人=0.32% 2022年 2/619人= 0.32% 2023年 8/612人=1.3% <目標値> 0%
- ・**有給休暇取得率**
2021年 82.6% 2022年 86.3% 2023年 89.5% <目標値> 90%以上
- ・**平均有給休暇取得日数**
2021年 16.5日 2022年 17.0日 2023年18.1日 <目標値> 20日以上
- ・**月平均所定外労働時間**
2021年 19.2H 2022年 17.2H 2023年17H <目標値> 15H以下
- ・**離職状況（離職率） ※定年退職を除く**
2021年 1.9% 2022年 1.28% 2023年 2.1% <目標値> 1%以下
- ・**平均勤続年数**
2021年 20.25 2022年 20.76 2023年 21.3
- ・**産休育休取得率、産休育休後復職率** <目標値> 100%維持
どちらも100%

【ストレスチェック回答者・回答率 2021年586名97.2% 2022年568名95.5% 2023年588名98%】

- ・**プレゼンティーイズム**：ストレスチェックに追加した質問票による過去3か月間に何らかの疾患や症状を抱えながら出勤し、通常のパフォーマンスを発揮できなかった日数とその損失割合の調査から1年間の損失割合を算出
2021年 1.48% 2022年 1.27% 2023年 1.97% <目標値> 0%
- ・**アブゼンティーイズム**：ストレスチェックに追加した質問票による過去3か月間に心身の体調不良によって仕事を何日休んだかの調査から1年間の損失日数を算出
2021年3.6日 2022年1.27日 2023年1.38日 <目標値> 1日以下
- ・**ワークエンゲイジメント**：ストレスチェックに追加した新職業性ストレス簡易票の「仕事をしていると活力がみなぎるように感じる」「自分の仕事に誇りを感じる」の2問の平均点
2021年2.3 2022年2.38 2023年2.36 <目標値> 4点
- ・**高ストレス者率**
2019年 16.5% 2020年 14.3% 2021年 13.6% 2022年 12.0% 2023年 14.0% <目標値> 10%以下
- ・**運動習慣**（1週間に2回・1回あたり30分の運動を実施）率 <目標値> 30%以上
2021年 40歳以上18.9% 全体18.2% 2022年 40歳以上15.7% 全体15.9% 2023年 40歳以上15.7% 全体16.2%
- ・**健康経営施策投資額** 1人当たり約6万円（21・22・23年度）※健診、ストレスチェック、感染症予防、福利厚生費等

【安全衛生の取り組み】

- ・安全衛生委員会開催状況
2023年度：5月26日,6月29日,7月27日,8月25日,9月29日,10月26日,11月30日,12月21日,1月18日,2月22日,3月21日,4月25日に開催（請負・協力会社との安全衛生委員会も同様の内容で毎月実施）
- ・労働災害 2022年度 2件 2023年度 3件 <目標値> 0件
- ・危険源特定・リスク評価
全社で約2000件のリスクを抽出し、リスク評価の結果89件を著しいリスクとして対策を実施 <目標> リスク低減対策100%実施

【健康教育実施状況】ヘルスリテラシーの向上：教育機会の充実

- 2023年 4月上期健診時にAGEs(最終糖化産物) チェック実施（請負・協力会社含む）
- 5月健康増進 RIZAP運動オンラインセミナー全社案内実施
- 6月オンラインセミナー全社案内実施（肩こり・腰痛、運動、ヨガ 各回1時間）
幹部DVD教育 ストレスチェック 部下との関わり方について 全員参加
運動指導＋禁煙教育研修 33名参加（請負・協力会社含む）※データ化して社内・請負協力会社に展開
e-learning実施：腰痛について 実施率：98.6% <目標値> 100%
- 9月下旬健診時にベジチェック実施（請負・協力会社含む）503名参加
- 10月子宮頸がん予防セミナー オンライン開催、介護オンライン教育 全幹部社員へ展開
睡眠セミナー＆花粉症についての教育 56名参加 満足度98%
- 11月ダイバーシティセミナー：精神・発達障がい者しごとサポーター養成講座 41名参加 満足度93%
- 12月ニコチンパッチでの禁煙チャレンジ参加者向けセミナー 15名参加 5名禁煙達成
- 2024年 3月アサーションセミナー：ANA元客室乗務員から学ぶコミュニケーション術 オンライン開催
女性の健康週間セミナー：高尾 美穂 先生オンライン開催
- 4月骨密度教育 婦人科健診対象者 134名実施 回答率72%
上期健診時に血管年齢測定実施（請負・協力会社含む）、心理的安全性DVD教育 全社展開（部門展開率100%）
- 5月幹部研修（傾聴・面接スキルアップ・自己理解）参加率56% 満足度92.8%※欠席者は10月フォロー予定
- 7月コレステロールセミナー：特保対象者への食事指導（管理栄養士からワンポイントアドバイス）参加者52名 満足度100%
- ニコチンパッチ・ガムでの禁煙チャレンジ参加者向けセミナー（請負・協力会社含む）4名参加